

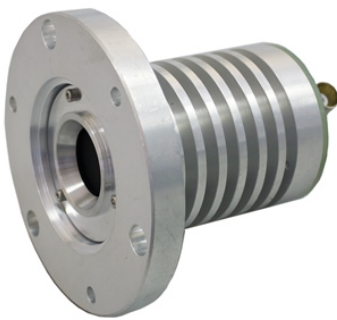


Laser Power Sensor レーザパワーセンサ

レーザパワーセンサは、レーザ光を熱起電力に変換し、レーザ出力を測定する為の素子です。受光面には、レーザ光を効率よく吸収する処理を施してあります。熱起電力を発生させるサーモパイルには、当社独自の薄膜素子を使用しています。また、仕様をご提示頂ければ下記以外のセンサも製作致します。

【特長】

- 出力安定度が高い
- 出力リップルが低い



FLS-31FD



LFS1505A3



FLS-21



LFS1502C-A

【仕様】

形式	対応可能波長範囲 (μm)	最大入力 (W)	最大入力密度 (W/cm^2)	感度 (mV/W)	応答時間
LPM-41C	0.4~10.6	40	200	1.0 ± 0.5	8秒以下
FLS-31FD		30		2.0 ± 1.0	3秒以下
LFS-2015A		15		3.5 ± 1.0	3秒以下
LFS-2015A2		15		2.0 ± 1.0	3秒以下
FLS-11FB		5		2.0 ± 0.5	2秒以下
LFS1505A2		5		1.8 ± 0.5	2秒以下
LFS1505A3		10		1.8 ± 0.5	2秒以下
LFS1505A4		5		1.8 ± 0.5	2秒以下
FLS-21 ※1		40		1.0 ± 0.5	8秒以下
LFS1502C-A ※2		5		1.0 ± 0.3	1秒以下

※1 最大入力はヒートシンク部を70°C以下に保った場合です。
(FLS-21はヒートシンク等放熱器を取り付けて使用してください。)

※2 LFS1502C-Aは電源の供給をお願い致します。
(供給電源:±5~±12V、消費電流:10mA)